

台湾との交流で得られたもの

千葉県立袖ヶ浦高等学校 教諭 阿部 俊人

1 はじめに

今年度の千葉県国際教育交流推進事業（台湾派遣）では、千葉県高等学校の中で専門学科「理数科・情報科」を設置している学校を対象として実施された。本校は情報科が設置されている学校であり、県内にある2校のうちの1校である。近年、タブレットでの授業や学校内に無線 LAN を設置している学校も多くなってきたが、本校は県立学校では最初にタブレットや無線 LAN を導入した学校である。情報科設置当初より「10年先の未来型学習の実現」というスローガンをかけ、現在でも新しい知識・技術を得られる環境を作り続けている。また、来年度からは情報コミュニケーション科内に「先進 IT コース」が新設され、企業や大学等と連携しながら先進技術に触れることができる教育課程を整備する予定である。そのような状況の中、今回2名の3年生とともに台湾派遣に参加する機会を得た。

2 台北市の生活環境について

・食事について

台湾の方は家で食事をとることが少ない点が特徴的である。日本では家で食べる方もまだまだ多いが、台湾ではほとんどの方が家以外で食事をする。その理由は、台湾の方の考え方に「男女平等」の視点が非常に強くあることだ。今回視察した剥皮寮歴史街区でも、女性の社会進出の歴史について展示されている場所があり、多くの台湾の方が男女平等の視点を持っていると感じられた。現地ガイドさんからの解説では、台湾の方は男女問わず家事に割く時間をなるべくかけずに済むよう、家で準備するよりも外食で済ませてしまおうという考えを持っているとあった。

・店舗購入時の割引について

各店舗では「まとめ買い」での割引も多くあり、複数購入で割引や追加で同じものを1つ貰えるといった文言をよく見かけた。割引表示として「6折」「8折」と表示されており、一見すると6割引や8割引に見えるが、これは6割・8割引ではなく4割・2割引という意味である。日本ではこのような割引を見かけることが少ないが、台湾ではどの店舗でもほぼ必ずと言っていいほど見かける表示であった。食事単価が安いだけでなく、割引システムが確立されていることも、外食文化を支える一因と言えるだろう。

・主な交通機関について

市内の道路では、地下鉄・バス・バイク・車が多く走っている。台湾はアメリカなどと同様に右側通行であり、市内の道路は多いところで4車線である。日本の車種も多くみられ、多くの車が走っている反面、狭い道でも路上駐車が多かった。また、高速道路は迷路のようにつながっている。バスも日本の路線バス以上に多く時には4車線すべてがバスで

埋めつくされていることもあった。なお、地下鉄については実際に施設を見学したため、後述する。

3 行程

1日目

成田空港にて出発式、のち搭乗手続き。みな緊張した面持ちで、期待と不安が入り混じった様子であった。



桃園空港にて

2日目

○桃園市立内壠高級中等学校訪問（高級中等学校は日本の普通高校と同義）

台北市内でも学力上位の学校であり、入口には卒業生の氏名および進学先が一覧で掲示してある。台湾大学や清華大学など、多くの有名大学への進学が記されており、進学校の雰囲気を感じられた。授業は毎日8時間目まで行われており、すべての授業が終わるのは16:50である。歓迎セレモニーではお互いの学校紹介があり、袖ヶ浦高校と木更津高校が代表して各高校の解説を英語で行った。内壠高級中等学校には国際コースもあるため、参加生徒の多くが英語を話すことができ、コミュニケーション力の高さがうかがえた。

今回の訪問では地球科学と情報の授業を見学し、日本の授業とはだいぶ違った印象を受けた。地球科学では星座をアプリで検索し、その後場所を移動し実際にプラネタリウムで確認をした。公立学校にプラネタリウムがあることも驚き、生徒たちも解説を聞きながら興奮して見ていたようだった。情報の授業では「Photopea」というソフトを使用し、画像編集を行った。授業内容はお気に入りの場所のトレードマークを作成するという内容だったが、授業内容を伝えることに苦労していたようだった。生徒たちは翻訳アプリなどを使いながら意思疎通を図っていた。全体的に自由な雰囲気があり、授業を受けている生徒たちはとても楽しそうにしている点が印象的であった。今回の見学では自らの授業のあり方を再認識させられるとともに、今後の授業に生かせる部分をたくさん得られた時間でもあった。生徒たちは自由見学が終わるところには寂しそうに別れを告げ、とても充実した時間を過ごすことができたようだった。



星座アプリで星座名を確認



画像編集ソフト「Photopea」



翻訳アプリでコミュニケーション



教室内の黒板内には電子黒板が

科目	1	2	3	4	5
1 10:00 / 10:50	英語	小論文	国語文	国語文	歴史
2 10:50 / 11:40	数学	小論文	音楽	英語文	公民社
3 11:40 / 12:30	資訊科技	自主學習 前導課程	英語文	英語文	公民社
4 12:30 / 13:20	資訊科技	自主學習 前導課程	物理	物理	数学
5 13:30 / 14:20	公民與社 會	地球科學	團體活動 時間	地理	生命教育
6 14:20 / 15:10	地理	國語文	團體活動 時間	閩南語文	體育
7 15:10 / 16:00	地球科學	國語文	数学	歴史	體育
8 16:00 / 16:50	英文(輔)	自習	自習	数学(輔)	國文(輔)

1日8時間授業の時間割

○台北MRT 見学

台北で生活する上でかかせない交通手段である地下鉄（MRT）を運営している会社である。台北市内と周辺都市を接続しており、運営する台北捷運公司是沿線の開発も同時に手掛けている。沿線の駅ではショッピングモールをはじめ、プールやアミューズメント施設も併設しているところもある。台北MRTではコントロールセンターにて運行状況が常時監視され、混雑回避のために増発や経路変更などの判断がリアルタイムで行われている。運行中は常に10人前後の職員が常時監視を行い、トラブルがあればセンター長にすぐ報告して判断を仰ぐ形式になっているため、コントロールセンターの座席配置は報告しやすい扇形に設計されている。トラブル発生から解消まで時間がかかるべくかからないように、リアルタイムでのチェックはかかせないとのことであった。日本では縦割りの業務が多く、こういった横のつながりがあまりない場合もあるが、台北MRTでは職員間のコミュニケーションが最も重要とのこと、こういった点は学校現場でもぜひ見習いたいと思っている。新しい考え方を否定せず、みんなでよりよい使い道を考えていける環境は正直うらやましいと感じた。この考え方は学校に戻ってぜひ共有していきたいと考えている。

また、乗客のアプリには「誰がどこで乗ってくるのか」を知らせるものがあり、友人知人と乗り合わせる際や、初めて会う人との待合せ時等で活用できる。使う人の利便性を考え、待合せという意味でICTを上手に活用している考え方は非常に斬新だと感じた。



扇形のコントロールセンター



MRTの歴史などが書かれている



券売機もあるが、電子マネーがお得

3日目

○東三水街市場・剥皮寮歴史街区・龍山寺・故宮博物院 見学

東三水市場は朝早くから営業しており、鶏が1羽まるごと販売されるなどしていた。その他にも日本ではなかなか見ないものも多く、活気が感じられた。剥皮寮歴史街区は多くの展示がされていて、COVID-19の感染防止対策方法なども展示されていた。龍山寺は仏教と道教が混ざっているようで、入る時の足も左足と指定されている。故宮博物院では有名な「翠玉白菜」や「肉形石」の化石展示がなく、残念ながら見る事ができなかった。



鶏が丸ごと一羽



台湾のCOVID-19感染防止対策



レンガ造りの剥皮寮歴史街区

男女平等についても展示があった



龍山寺では占いも盛んに行われている

入口と出口でわかれていて、入る足も重要

○BROGENT（正式名称はBROGENT TECHNOLOGIES INC.）

本社が台湾の高雄市にある会社で、2003年の設立時より様々な企業と協力しながらフライトシミュレーターなどの映像系ソフトウェア分野を牽引。雨天時にも安全に楽しめる新しい体験型サービスとして様々な場所で利用されている。日本では最初に富士急ハイランドにて富士山周辺のフライトシミュレーターとしてサービスを提供しており、過去には進撃の巨人や新世紀エヴァンゲリオンなどのコンテンツとコラボレーションしている。



↑目の前には台北101がある



フライトシミュレーター・日本とのコラボレーション時の様子
(画像は公式サイトより引用)

4日目

○中正紀念堂見学・家樂福（カルフル）視察

中正紀念堂は蒋介石の死後、蒋介石の業績を称えるために建設された。中正とは蒋介石の本名であり、内部は蒋介石の生前使用していた衣類や軍服、書や帯刀など多岐にわたって展示され、精巧に作られた蒋介石の蠟人形と当時の執務室も再現されている。中央の巨大な建造物内にあるメインホールでは、現在でも毎日衛兵交代式が行われており、蒋介石の銅像前で実施される衛兵交代式は素晴らしいものであった。

家樂福は過去に千葉市美浜区にも存在していたショッピングセンターである。家樂福桂林店は、24時間営業で日本と同じようにマクドナルドやミスタードーナツ、丸亀製麺やらあめん花月嵐などが入っている。観光客向けにお土産コーナーが充実しており、階の移動はスロープ式のエスカレーターを使用する。



執務室の再現には本人も再現されている



衛兵交代式は毎日実施



巨大な建物内には蒋介石が身に付けたものも



4 おわりに

今回の台湾派遣では、貴重な体験を数多くすることができた。もともと情報分野ではトップを走る企業が多い台湾であるが、普段はあまり見ることができない施設や機器を見学することができた。また、生徒にとってもコミュニケーションの難しさや意思疎通ができる楽しさ、貴重な友人を得ることができたと思う。これからも千葉県と台湾の国際交流が続くことを切に願っている。また、本事業への参加の機会をいただいた千葉県教育委員会をはじめ、参加にご支援くださった関係の方々へ深く感謝申し上げます。